

施策分析シート（令和3年度）

No1

施策名	人権・平和の普及啓発		施策No	10-06	部課名	総務企画部総務企画課	
					課長名	小林	内線

関連部課名							
-------	--	--	--	--	--	--	--

行政評価 事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				

目的  
人権の尊さ、平和の大切さを区民に広く普及啓発を図ることにより、平和を愛し、思いやりと互助の精神にあふれた温かい地域社会の形成を図る。  
性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		30年度	元年度	2年度	
①	文化的寛容性	2.59	2.68	—	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？
②					
③					
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	人権・平和事業参加人数（人）	1,299	1,534	194	1,009	1,577	参加人数
②	男女平等社会形成のための講座・講演会参加人数（人）	1,655	1,570	500	605	1,800	参加人数
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度		2年度	差額		
行政費用	給与関係費	41,812	43,495	1,683	地方税等	0	0	0	
	物件費	35,072	32,892	▲ 2,180	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	10,695	17,852	7,157	都支支出金	933	130	▲ 803	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	4,224	3,537	▲ 687	使用料及び手数料	4,619	1,365	▲ 3,254	
	減価償却費	37,895	37,576	▲ 319	その他	231	1,145	914	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,783	2,640	▲ 3,143	
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,551	5,227	1,676	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 127,466	▲ 138,845	▲ 11,379	
	その他行政費用	0	906	906	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	133,249	141,485	8,236	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 127,466	▲ 138,845	▲ 11,379	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 127,466	▲ 138,845	▲ 11,379		

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度		2年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,640	1,793	153	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
固定資産	有形固定資産	2,148,224	2,119,188	▲ 29,036	賞与引当金	1,640	1,793	153	
	土地	1,721,996	1,721,996	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	1,391,718	1,400,259	8,541	固定負債	11,068	25,288	14,220	
	建物減価償却累計額	▲ 965,490	▲ 1,003,066	▲ 37,576	特別区債	0	12,000	12,000	
	工作物等	17,512	17,512	0	退職給与引当金	11,068	13,288	2,220	
	工作物等減価償却累計額	▲ 17,512	▲ 17,512	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	12,708	27,081	14,373	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	2,135,516	2,092,107	▲ 43,409		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	2,135,516	2,092,107	▲ 43,409		
資産の部合計	2,148,224	2,119,188	▲ 29,036	負債及び正味財産の部合計	2,148,224	2,119,188	▲ 29,036		

財務諸表に関する特徴的事項等

- 男女平等推進センターにおける地下ホール空調設備改修工事や荒川さつき会館における工業用水道切替工事等を実施したため、維持補修費が増加している。
- 荒川さつき会館の体育室に新たに空調設備を設置したことにより、固定資産（建物）が増加している。
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う荒川さつき会館及び男女平等推進センター施設使用料の減や事業中止による補助金収入の減のため、行政収入が減少している。
- 行政収入（その他）の増の主な理由は、荒川さつき会館の工業用水廃止に伴う東京都からの清算金である。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○近年の人権課題は、「児童虐待」「高齢者虐待」「配偶者等暴力（DV）」「障害者差別」「同和問題（部落差別）」「ヘイトスピーチ」「LGBT」、「ハラスメント」等、多様化・複雑化している。</p> <p>○男女共同参画について、男女共同参画社会基本法（平成16年6月）や女性活躍推進法（平成27年9月）、荒川区男女共同参画社会推進計画に基づき、推進を図ってきた。令和元年度の区民世論調査による結果をみると、各調査項目では、男女の地位の平等意識が向上し、又ほぼ前回と変わらない傾向を示している中で、「社会全体」において平等と認識している割合は低下している状況にある。</p> <p>○日々の平穏な暮らしは、平和というかけがいのない財産で成り立っているとの認識の下、様々な機会を捉えて平和の大切さを区民に身近に感じてもらう取組を実施している。</p>
課題	<p>○人権課題の多様化・複雑化に加え、インターネットにおける心ない書き込みやいじめ等、日常生活の身近な場面で人権侵害が起こり得る状況にあるため、一層の人権意識の向上や普及啓発を図る必要がある。</p> <p>○男女共同参画については、人々の意識や行動、社会の習慣・慣行の中に依然として性別に基づく固定的な役割分担意識が根強く残っている状況にあり、それらの改善・解消に向けて普及啓発を図る必要がある。また、多様な生き方・考え方に対する理解についても、広めていく必要がある。</p> <p>○国際情勢が厳しさを増す中で、基礎自治体として平和の大切さをしっかり次代に引き継いでいく必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、医療従事者や感染者等に対する誹謗、中傷や差別が発生し、外出自粛による児童虐待やDVの深刻化が懸念されている。新しい生活様式の中での人権について、周知啓発していくことが必要である。</p>
今後の方向性	<p>○これまで以上に、多様性や一人ひとりの個性を認め、理解し合える地域社会の構築を目指し、様々な機会を捉えて人権意識の向上に努めていく。また、人権課題の多様化等の状況を踏まえ、「荒川区人権推進指針（平成13年4月）」について、見直しの作業を進めていく。</p> <p>○「誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指す実行プラン～荒川区男女共同参画社会推進計画（第5次）～」に定める目標値の達成に向けて、区におけるあらゆる分野において男女共同参画の推進を図っていく。</p> <p>○平和の大切さについて、引き続き区民に身近に感じてもらえる取組を継続して実施する。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
推進	推進	人権意識や平和の願い、男女共同参画の推進について、広く区民に普及啓発を図っていく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
荒川さつき会館管理運営 事業	01-01-26	46,912	43,545	26,635	29,865	継続	継続	地域住民の交流促進及び 人権施策推進の施設とし て、引き続き適切な管理・ 運営を行う。
人権・平和普及啓発事業	01-01-27	17,964	14,132	3,477	1,536	推進	推進	人権の尊さや平和の大切 さについて広く区民に普及 啓発を行う。
男女平等推進センター管 理運営事業	01-01-30	57,386	73,148	22,658	37,450	継続	継続	男女共同参画社会の実現 をめざす拠点施設として、 さらなる効果的運営を行 う。
男女共同参画啓発・相談 事業	01-01-32	10,986	10,661	6,229	5,831	推進	推進	「荒川区男女共同参画社 会推進計画」に基づき、引 き続き男女共同参画の推進 を図る。
合 計		133,248	141,486	58,999	74,682			